

第 1 回図書館協議会 (29.8.3)

平成 29 年度 6 月議会報告

*一般質問 (平成 29 年 6 月 14 日から 20 日まで)

*教育こどもみらい常任委員会 (平成 29 年 6 月 21 日)

図書館から「非常勤嘱託員を中心とした体制と開館時間の延長の試行について」報告し、それに関して審議された。

公明党鎌倉市議会議員団 納所輝次議員

・専門嘱託員は司書の資格を持っているのか、正規職員、専門嘱託員、一般嘱託員の職務の分担はどのようになっているのか、正規職員が休みを取得したときの対応はどのようにするのか、試行に関し、どのような評価を行っていくのか、今後、全ての地域館において正規職員を 1 名にしていくのかとの質問があり、専門嘱託員は司書の資格を持っていると回答し、職務の分担に関しては、正規職員は、地域館をまとめていく役割と責任者である。専門嘱託員には、今まで職員が行っていた部分のところもやってもらっている。一般嘱託員は職員の補助的な役割であると回答し、正規職員が休みを取得する場合は、中央図書館から職員を派遣すると回答し、試行後は、アンケート調査等によって利用者の意向等を把握するとともに、図書館協議会において検証を行っていきたいと回答し、今後、全ての地域館において正規職員を 1 名にしていくのかとの質問には、多様な人材を活用しての運営については、玉縄図書館と腰越図書館で実施していき、大船図書館と深沢図書館に関しては、現状のままであると回答した。

鎌倉みらい 前川綾子議員

・利用者にアンケートを取るのか、図書館を熱心に利用されている方はたくさんいるので、きちんと取るべきであるとの質問があり、開館時間、運営体制等について利用者の意向を確認するアンケートを実施していると回答した。

以上の質疑ののち、「非常勤嘱託員を中心とした体制と開館時間の延長の試行について」の報告事項は了承となった。